

UNI-PEX

定格出力6W

防滴メガホン

取扱説明書 (保証書付)

See page 9 through 16 for English Instructions.

TR-215A

サイレン付

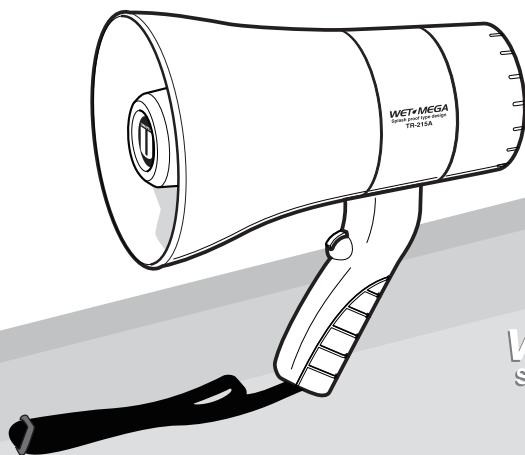
TR-215SA

ホイッスル付

TR-215WA

IEC60529 IP65

[JIS C 0920 6 (耐塵形)、及び5 (防噴流形)]



WET-MEGA
Splash proof type design

このたびは、ユニベックスメガホンをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。



耳の近くでは絶対に使用しない

大きな音で聴力障害などの原因となることがあります。テスト時は、メガホンに床に伏せておこなってください。



分解／改造はしない

火災の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災の原因となります。ただちに電池を取り出し、販売店などにご連絡ください。



屋外で使用のとき、雷が鳴り出したら、体から離す

落雷の原因となります。ただちに使用をやめ、体からメガホンを遠ざけてください。



乾電池は、充電しない

電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



異常に温度が高くなる場所に放置しない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。各部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



トリガースイッチを引く前には音量を最小にする

突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。



この機器に乗ったりしない

特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



電池は極性(+/-)を確かめ正しく入れる

電池を挿入する場合、極性表示に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



指定以外の電池は使用しない

また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない

電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。



一ヵ月以上使用しないときは、電池を取り出しておく

電池から液がもれて火災、けが、故障、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ホルダーについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。



1年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほごりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前におこなうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

防水・防塵性能について

- 本機はIEC 60529 IP65^{※1} に準拠しています。雨やある程度の水の噴流がかかるような状況でも使用できる防滴形メガホンです。ただし、水中や強い水圧の噴流では内部に水が入ることがありますので使用しないでください。

※1 IEC60529 IP65とは.....

・外来固形物に対する保護の度合：6「耐塵形」／・水の侵入に対する保護の度合：5「防噴流形」

使用上のご注意

- 製品に強い衝撃や振動を加えないでください。音切れや故障の原因となることがあります。

非常用として使用する場合

- 非常用として使用する場合、乾電池が抜いてあったり、液漏れ、または消耗していることがないように、日常点検をおこなってください。

お手入れについて

- 揮発性(ベンジン、シンナーなど)のものをかけたり、使用したりしないでください。ケース及び肩掛ベルトが変形したり、変色したりすることがあります。
- 日常のお手入れ
乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんを使用される場合は、その注意書に従ってください。
- 汚れがひどいとき
台所用中性洗剤をうすめ、柔らかい布にしみこませてよくしぼり、軽く拭いてください。そのあと、乾拭きしてください。

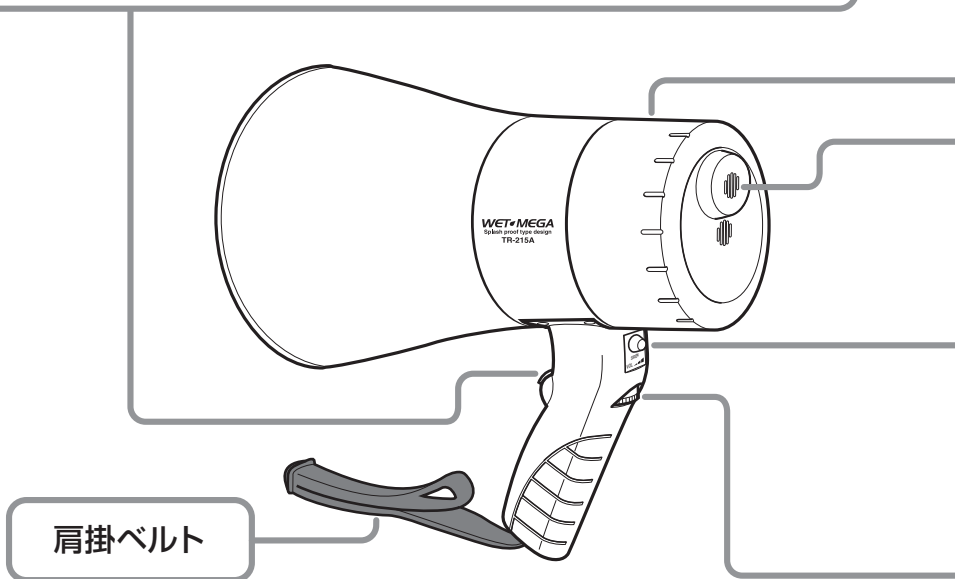
各部の名称と説明

トリガースイッチ

このスイッチを引くと電源が入り、拡声ができます。指を離せば電源が切れます。トリガースイッチを引く前には必ず音量調節つまみを最小にしておいてください。拡声時以外はこのスイッチを引かないようにし、電池の消耗を防いでください。

TR-215SAの場合……

サイレンを鳴らしているときでも、このスイッチを引くとサイレンが止まり拡声することができます。



⚠ 警告

本機を水中や強い水圧がかかる場所で使用しない、または放置しない。

- ・火災、誤動作の原因になります。

(詳しくは「防水・防塵性能について」の項をご覧ください。)

本機を分解しない。

- ・再組み立て後、雨などの水滴が本機内部に入り火災や誤動作の原因になります。

耳の近くでは絶対に使用しない。

- ・サイレン/ホイッスル音やハウリング音で聴力障害などの原因になることがあります。

電池カバー

乾電池(R6P/LR6)6個を電池ケース内部の極性表示に従って入れ、本体に収納してください。(6頁の電池の入れ方の説明をご覧ください。)

送話口

送話口と口との距離は1~2cm程度まで近づけて話してください。口を離しすぎると音量不足の原因になります。また、水滴が送話口の孔に溜まりますと著しい音量不足になりますので、吸水性の良い布などで拭き取ってください。

サイレンボタン

このボタンを一度押しますとサイレン音は5秒周期で周波数の変化を繰り返し、音量調節つまみに関係なく一定の音量で鳴り続けます。再びボタンを押しますとサイレン音は切れます。

TR-215SA

TR-215Aには、このボタンは付いていません。

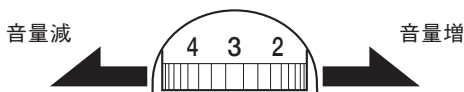
TR-215WA

ホイッスルボタン

このボタンを押している間、ホイッスル音は音量調節つまみに関係なく一定の音量で鳴り続けます。ボタンから押している指を離しますとホイッスル音は切れます。

TR-215Aには、このボタンは付いていません。

音量調節つまみ



ハウリング(キーンという音)を起こさない範囲で音量を調節してください。トリガースイッチを引く前には必ず音量調節つまみを最小(1位置)にしておいてください。

電池の入れかた

●乾電池(R6P/LR6)を挿入、または交換されるときは次の説明に従っておこなってください。

1

電池カバーをはずす

本機が濡れているときは必ずよく拭き取り、乾燥させてから電池カバーをはずす

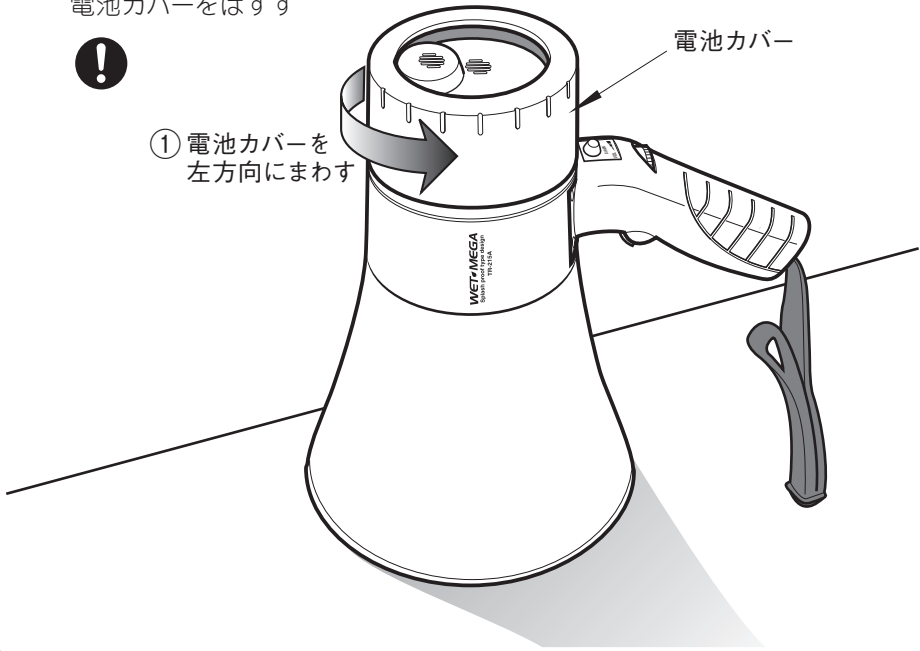


① 電池カバーを左方向にまわす



② 電池カバーを上方向にはずす

電池カバー



⚠ 警告

濡れたまま電池カバーをはずさない

・水滴が内部に入り火災や誤動作の原因になります。

電池の挿入は、表示の極性に従い正しく入れる

- ・誤挿入による液漏れや破裂だけがをすることがあります。
- ・特にアルカリ乾電池をご使用の場合は液漏れにより、化学やけどの原因となることがあります。

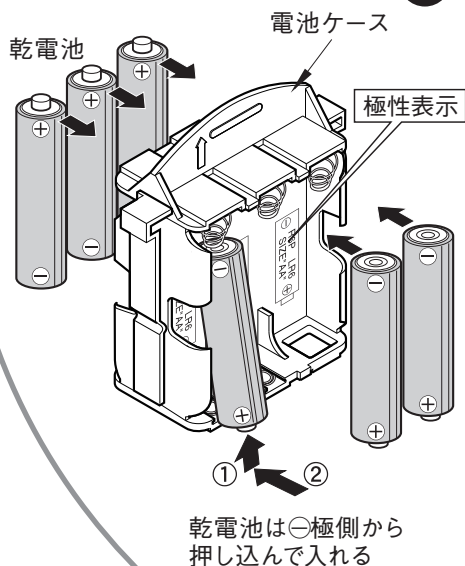
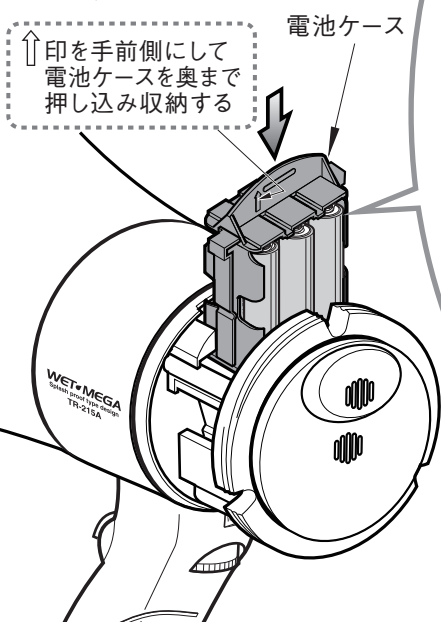
電池挿入後は、電池カバーをしっかりと締め付ける

- ・電池カバーの締め付けが充分でないと、雨などの水滴が本機内部に入り火災や誤動作の原因になります。

2 電池を電池ケースに入れ、本体に収納する

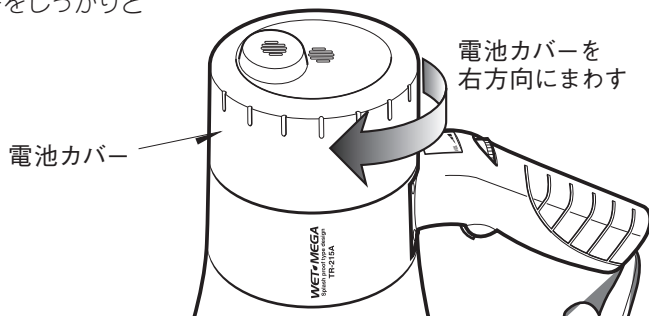
2-1 本体の電池ケース収納部の電池ケースを取り出す

2-2 乾電池(R6P/LR6)6本を電池ケースに表示されている極性表示に合わせて入れる



3 電池を挿入後、もとどおり電池カバーを閉めてください。

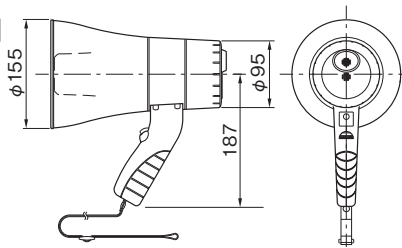
電池カバーをしっかりと締め付ける



定 格

品 番		TR-215A	TR-215WA	TR-215SA
出 力		定格6W、最大10W		
通 達 距 離 (J E I T A)		約250m	約250m (音声) 約315m (ホイッスル)	約250m (音声) 約315m (サイレン)
使用乾電池 (電源)		R6P/LR6 (単三形) 6個 (DC9V)		
電 池 持 続 時 間 (J E I T A)		約10時間	約10時間 (音声) 約30分間 (ホイッスル)	約10時間 (音声) 約30分間 (サイレン)
総合周波数特性		700Hz～5kHz (偏差26dB以内)		
外 装	ホーン/カバー	ASA樹脂 マンセル 10B6/6 近似色 ライトブルー	ASA樹脂 マンセル 5Y9/8 近似色 イエロー	ASA樹脂 マンセル 8R4/12 近似色 レッド
	グリップ/胴体	ASA樹脂 マンセル3.5 B5.5/0.5 近似色 グレー		
外 形 寸 法		ホーン口径φ155mm 全長250mm		
質 量		約 630g (電池別)		
防 水 性 能		IEC 60529※2 IPX5 (JIS C 0920 保護等級 5 [防噴流形])		
防 塵 性 能		IEC 60529※2 IP6X (JIS C 0920 保護等級 6 [耐塵形])		
付 属 品		取扱説明書 (保証書付) 1、営業所一覧表 1 TR-215SA専用付属品※3 (点検確認カード 1、非常用メガホンラベル 1、反射ラベル 1)		

外観寸法図
(単位: mm)



※2 IEC規格「電気機械器具の外郭による
保護等級 (IPコード) 」
※3 TR-215A・TR-215WAには付属していません。

メガホン
TR-215A・TR-215SA・TR-215WA

品番		製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部)6ヶ月		
お客様	お名前 様 ご住所 〒 電話() -		
販売店	店名・住所 印 電話() -		

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。
お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を
提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**
発売元 **ユニパックス株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)

保証書

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行
いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示
した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限する
ものではありません。(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ① 保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態
において故障した場合に無料で修理いたします。
- ② 修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③ 当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正
していないこと。

無料修理保証の免責範囲

- (次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)
- ① 使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
 - ② 不当な修理改造による故障、損傷。
 - ③ 正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
 - ④ お買い上げ後の落下、傷など、お取り扱い上起因するもの。
 - ⑤ 火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒
ガス、異常電圧などが原因の損傷。
 - ⑥ 故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
 - ⑦ 常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品
交換などの要求をされる場合。

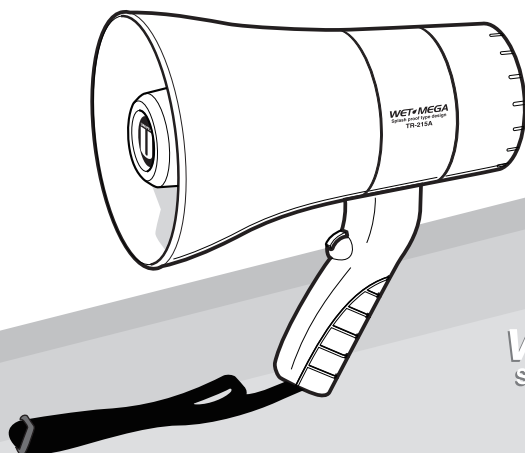
UNI-PEX

INSTRUCTION MANUAL

Splash-proof type / Rated Output 6W

Megaphone

Model **TR-215A** With siren Model **TR-215SA**
Model **TR-215WA** With whistle



WET-MEGA
Splash proof type design

Thank you for choosing our product from among various megaphones.

Cautions for Safety

Be sure to follow

- Please be sure to read through this Instruction Manual before use so that the Megaphone may be able to serve you safely and in good shape at all times.
- It is recommended that you keep this manual at hand for immediate reference whenever necessary.

Information about safety symbols

This manual uses several pictographs to draw your attention to important directions which will be necessary for you to use the product safely and correctly and protect yourself and others from physical hazard and/or property damage. Please understand what each symbol means before proceeding to the text.



Diagonal in circle ○

Prohibits the act drawn in it or defined in words nearby; in this example, it means 'No Disassembling.'



White exclamation mark in solid circle ●

Enforces or directs the act defined in words thereby.



Exclamation mark in triangle △

Warns of danger or draws attention to particularly important directions.



Warning

Any inappropriate operation in disregard of the instructions given under this caption can result in death or serious injury.



If anything should unusually occur, stop using the megaphone right now.

In cases that smoke is rising, you feel stink or noise, the megaphone is damaged by falling to the ground, getting wet, and etc., stop using the megaphone and contact with a specialty store for repair to prevent fire or electric shock.



Never use the megaphone at the close point to ears.

A loud sound may cause hearing disorder. When testing the megaphone, do the test after turning the horn mouth to the floor.



Never break up or modify the megaphone by yourselves.

Put the repair or the inspection in a specialty store's hand to prevent fire or electric shock.



Never put water or metal into the megaphone.

Water or metal in the megaphone may cause fire or electric shock. If did, remove the dry cells and contact with a specialty store.



If it begins to thunder, never operate the megaphone outdoors.

If it begins to thunder during use of the megaphone outdoors, stop operating the megaphone and keep away from the megaphone to avoid being struck by lightning.



Never give a charge of electricity to a dry cell battery.

To prevent fire or injury caused by explosion or liquid leak of dry cells.



Caution

Any inappropriate operation in disregard of the instructions given under this caption can result in injury or damage to property.



Do not put the megaphone on unstable place.

To prevent an injury caused by the fall of the megaphone.



Do not leave the megaphone at a place where the temperature may be excessive.

Do not leave the megaphone at a place where the temperature may be excessive such as in a car with all windows closed, where it is exposed to direct sunlight and so on. Excessive temperature may injure the each component and cause fire.



Set the volume to the minimum when turning the power on.

To prevent a sudden loud sound which may cause hearing disorder.



Do not heat, break up or put in fire/water the dry cell batteries.

To prevent fire or injury caused by explosion or liquid leak of dry cells.



Caution

Any inappropriate operation in disregard of the instructions given under this caption can result in injury or damage to property.



Load dry cell batteries correctly according to the polarity indications.

When placing dry cells in the megaphone, be careful with the polarity indications and load dry cells correctly according to the display. Misleading on the polarity may cause fire, injury or stain caused by explosion or liquid leak of dry cells.



Do not use ones except for the specified dry cell battery.

In addition, do not mix new ones with old when loading dry cells. It may cause fire, injury or stain caused by explosion or liquid leak of dry cells.



Remove the dry cell batteries in case that the megaphone will not be used more than one month.

Leaving the dry cells in the megaphone for a long time may cause a liquid leak of dry cells, which cause fire, injury or stain. If dry cells leak, install new dry cells in the megaphone after wiping the liquid on the battery holder well.



Clean the inside of equipment at one year interval by requesting to a specialty store. Dust collected in the equipment for a long time may cause fire or some trouble. Regarding the cost of cleaning, please ask a specialty store.

Directions for waterproof

- This megaphone is water protection type according to IEC 60529 protection grade IP 65. You can use this megaphone in the rain. However, never use it in the water or high water pressure on account of water into inside by water pressure.

Caution

- Do not give a shock or vibration to the product to avoid sound blinking or any failure.

For Emergency Use

- Always keep the megaphone loaded with batteries correctly, and regularly check the battery power whether it is enough to operate or not in case of using the megaphone for emergency.

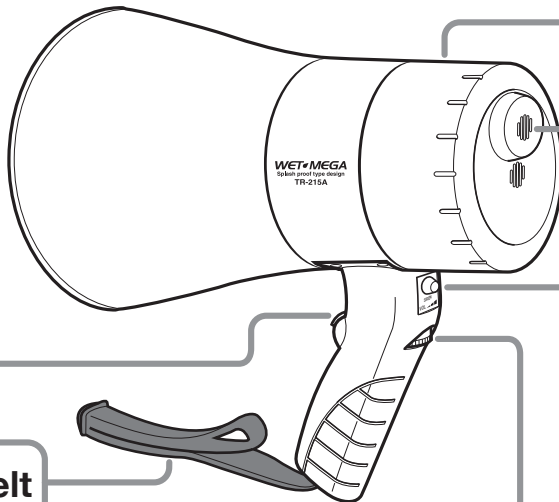
Directions for Care

- Use neutral detergent to clean the megaphone body. Never use volatile oil such as benzine, thinner and so on. It may cause deformation or discoloring of the megaphone's case and shoulder belt.
- Daily care
Wipe the megaphone on a dry cloth. In case of using commercially available cloth soaked with chemicals, follow its instruction manual.
- For bad stains
Wipe the megaphone on a soft cloth soaked with thinned detergent for kitchen, and wipe again on a dry cloth.

Names and Functions

Trigger Switch

When the trigger switch is pulled, the megaphone is on, into the operating condition. When the switch is released, the instrument is off. Make it a habit to pull the trigger only while talking, which will save battery power to a considerable extent. With the TR-215SA, if the trigger switch is pulled while siren is sounding, the siren stops and voice amplification is possible.



Shoulder Belt



Warning

Never use this megaphone in the water or high water pressure.
To prevent fire or malfunction.

Never break up or modify the megaphone by yourselves. Rain or drops
of water may enter inside the body and cause fire or malfunction.

Never use this megaphone at the close point to ears,
to prevent damage the ear.

Battery Compartment Cover

Place six dry cells (R6P/AA-size) in the case correctly as indicated by polarity display. (See to "Loading Batteries")

Microphone Unit

Keep the microphone unit 1 to 2 cm from your mouth. If the distance is too great, amplification will be insufficient.

Note:

In case that microphone unit cover holes are clogged up by drops of water, the sound volume may be decreased markedly. Please wipe the microphone unit cover with an absorbent cloth.

Siren Button

Press the switch to start repeating siren sound for 5 seconds with changing frequency regardless of volume control setting. Press the switch again during operating to stop.

TR-215SA

TR-215WA

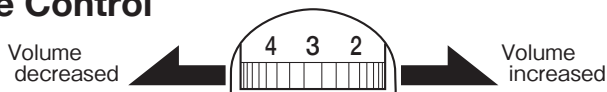
This button is not equipped for TR-215A

Whistle Button

When the whistle switch is pressed down, the whistle starts to sound regardless of the setting of the volume control. Releasing the switch stops it.

This button is not equipped for TR-215A

Volume Control



Set the volume control at a desired position as long as no howling is caused. Be sure to set the volume control minimum (position of "1") before pulling trigger switch. (Sound level of the siren or whistle is constant regardless of the setting.)

Loading Batteries

- Follow the instruction as followings when loading or replacing dry cell batteries (R6P/AA-size).

1 Remove the battery cover.

In case that the body is wet, be sure to wipe and dry it, and then remove the battery cover.



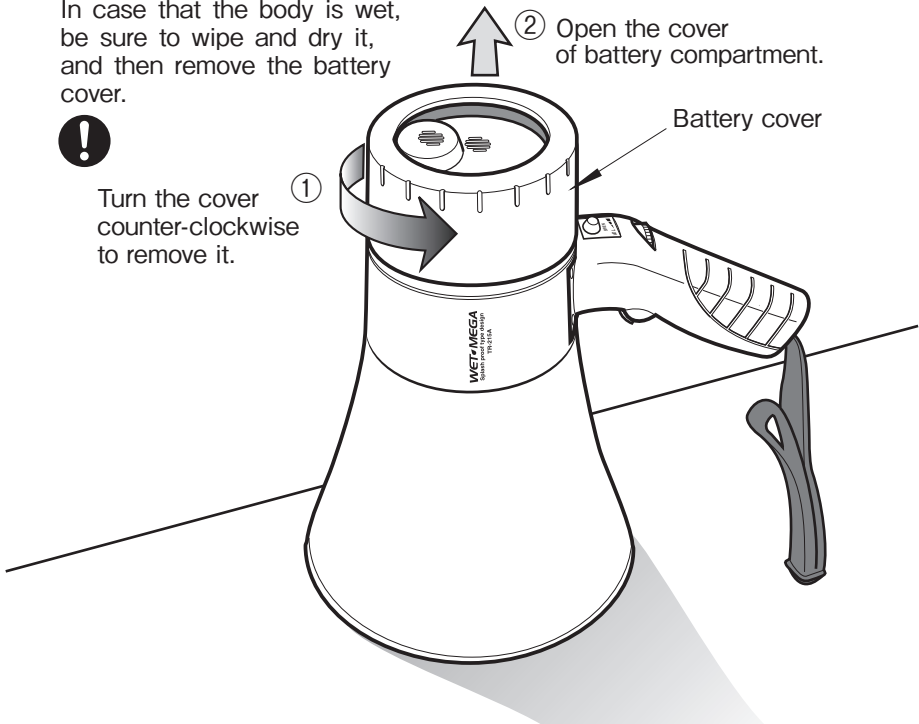
Turn the cover counter-clockwise to remove it.

①



② Open the cover of battery compartment.

Battery cover



Warning

Never remove the battery cover when the body is wet.

- Drops of water may enter inside the body and cause fire or malfunction.

Be sure to insert dry cells correctly according to the polarity indication.

- Leakage or explosion of dry cells due to mis-setting may cause an injury.
- Especially, in case of using alkaline dry cell, the leakage may cause a chemical scald.

Screw the battery cover on tightly after insert dry cells.

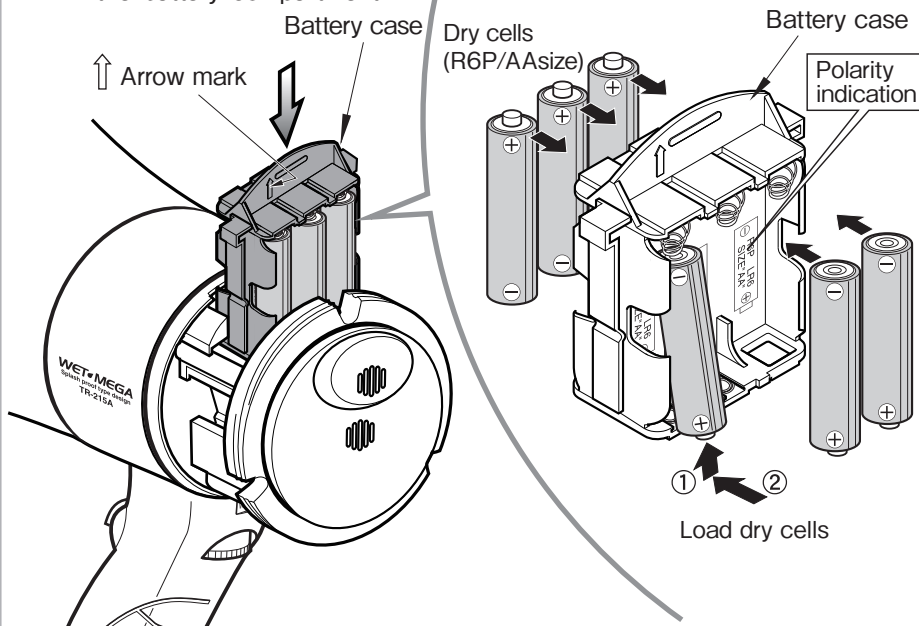
- In case that the cover loosens, rain or drops of water may enter inside the body and cause fire or malfunction.

2 Load dry cells into the battery case. Replace the case.

2-1 Take out the battery case from the battery compartment.

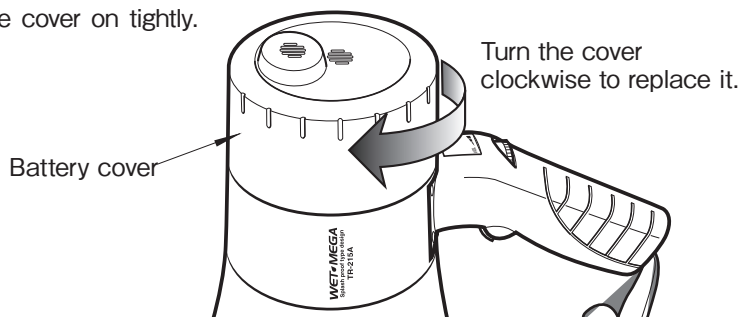
2-3 Replace the battery case into the battery compartment.

2-2 Load six dry cells(R6P/AAsize) into the case as indicated by the polarity display. 



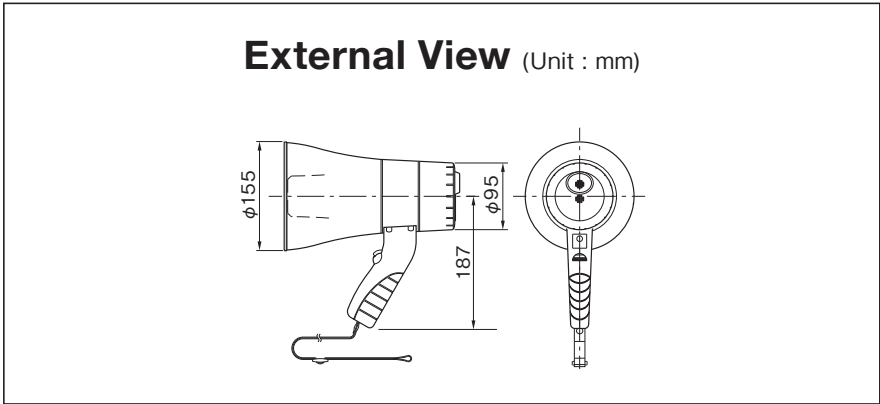
3 Replace the cover securely.

Screw the cover on tightly.



Specifications

MODEL		TR-215A	TR-215SA	TR-215WA
Output Power		Rated 6W, Maximum 10W		
Sound Coverage (JEITA)(R6P)	Voice	Approx. 250m		
	Siren	_____	Approx. 315m	_____
	Whistle	_____	_____	Approx. 315m
Applicable Batteries		R6P/AA-size dry cells 6 pcs. (9V DC)		
Battery Power	Voice	Approx. 10 hours		
Duration (JEITA)(R6PU)	Siren	_____	Approx. 30 minutes	_____
	Whistle	_____	_____	Approx. 30 minutes
Frequency Response		700Hz~5kHz (deflection 26dB, or less)		
Finish	Horn mouth	ASA resin, Light blue	ASA resin, Red	ASA resin, Yellow
	Battery case	(Munsell 10B6/6)	(Munsell 8R4/12)	(Munsell 5Y9/8)
	Body/Grip	ASA resin, Grey (Munsell 3.5 B5.5/0.5)		
Dimensions		φ155mm(horn dia.)×250mm(length)		
Mass		Approx. 630g (without batteries)		
Water Protection Grade		Protection level IP 65 (IEC 60529)		
Accessory		Instruction Manual, 1		
		_____	Reflective level, 1	_____



日本国内での連絡先は別紙営業所一覧表「連絡先のご案内」をご覧ください。

UNIPEX co.,LTD.

3-6 Shodai-Tajika, Hirakata, Osaka 573-1132, Japan

Phone: 072/836/0030 Fax: 072/836/0029

ユニペックス株式会社